

平成 30 年度大学院理学専攻（修士課程）修了予定者アンケート

以下、平成 31 年 1 月から 2 月にかけて理学専攻修了予定者に対して実施した、大学院での学習環境全般に関するアンケート結果を示す。平成 30 年度修了予定者は 45 名で、そのうち 26 名から回答が得られた。アンケートの回収率は 57.8 %であった。

理学部大学点検評価委員会

I. 分析と今後の教育へのフィードバック

【アンケート結果概要】

まず、大学院での研究や生活で満足できたものとして、ここ数年続けて「研究室での研究やゼミ」という回答が76.9% (昨年度88.4%)と最も高く、次いで「先生との出会い」が61.5%(昨年度72.7%)、「修士論文」も61.5% (昨年度34.0%)と並んだ。また、「授業」と回答した人が57.7% (昨年度48.5%)と2年続けて増加し、「友人との出会い」と回答した50.0% (昨年度57.6%)を超えた。授業への満足度が毎年上昇傾向にある。逆に満足できなかったものとしては「課外活動」が38.5% (昨年度24.2%)であり、昨年度と同様であった。一方、「修士論文」が7.7% (昨年度12.1%)、「授業」も同じく7.7% (昨年度15.2%)であり、逆に見ればともに満足度が上昇していることが窺える。修士論文の満足度が昨年から大きく上昇したことからも、不満足度がこれに応じて減少している。また「授業」についても昨年度の15.2% から減少しており、一昨年度の2%という水準に戻りつつあることが窺える。また、大学院における授業に関する質問で「満足できた」または「満足できる授業が多かった」と回答した学生は92.3%(昨年度87.9%)であり、一昨年度は80.0%であったので、毎年上がってきている。

教育研究施設(学習環境)について、肯定的意見は92.3% (昨年度90.9%)であり、昨年度、一昨年度(80%)より数値が上がってきている。

就職支援活動については、肯定的意見は全体の 65.4% (昨年度 72.7%)であり、昨年度より下がってしまった。自由記述で「利用していない」「あまり活用していない」という意見が見られ、いまだに就職室の就職支援活動が十二分に浸透していないのかもしれないが、近年の新卒就職状況の動向から就職支援が無くとも就職が順調に行えているのかもしれない。一方、「面接練習ができるのは良いと思う」という記述もあり、学生のニーズの把握が必要であろう。

ボランティア活動の参加については、88.5% (昨年度84.8%)の修了予定者が活動したことがないと答えている。研究に忙しいためであろう。ボランティア活動に参加した回答者にその満足度を聞いたところでは数は少ないものの全員満足できているようである。

「総合的に考えて、理学専攻(修士課程)で学んでよかったですか。」という項目では、「とてもよかったです」と答えた修了予定者は69.2%、「おおむねよかったです」が30.8%であり、昨年度に続き肯定的意見が100%であった。修了予定者にとって理学専攻で学んだことに対する満足度は非常に高いことがうかがえる。

最後に教育全般に関する自由意見を聞いてみたところ、「指導教員のサポートがしっかりしていて良かった」「自分のしたい研究ができてとても充実できた」「資料などの活用もできたので満足」と肯定的な意見のほか、必要なソフトウェアの要求もあり、財政面での支

援が求められる。

【総括】

大学院で満足できたものとして「研究室での研究やゼミ」を例年と同じく8割近くの修了予定者が挙げている。また今年度は「修士論文」「授業」と答えた方が6割前後あり、昨年度から大きく上昇した。修士課程での教育に一定の満足度が得られているものと推察される。今後も修士課程での学修の基本であるこれらの数値が上がるような努力を続けていきたい。大きな流れでは大学院進学率が低下する傾向がみられるので、今後もこの数値については注意していきたい。また、授業の満足度の上昇と相まって、満足できなかった比率が一層減少するように今後も努力したい。就職支援活動の結果を見ると、就職活動の支援について肯定的意見が昨年より下がっている。大学院進学希望者数を増やすためにも、出口をしっかりとすることが重要である。そのためにも就職支援活動の周知が必要とされ、学生が就職室に求めることを適切に提供できるようにする必要が感じられる。さらには、研究予算の欠乏、予算縮減による研究設備の不調、人員の削減による教員の不足といったさまざまな要因による研究活動への支障が本学の大学院への進学者数に影響を及ぼすことも懸念される。今後も各分野で必要と思われる改善を進めていきたい。

II. 集計結果

1. あなたの所属する分野を下記より選んでください。

主専攻履修の方

- A. 数学 B. 物理科学 C. 生物科学 D. 地球科学
 E. 情報科学 F. 応用化学 G. 海洋生命・分子工学 H. 災害科学
 I. 連携分野（植物分類・地理学） J. 連携分野（海底資源科学）

準専攻履修の方

- K. 黒潮圏総合科学準専攻 L. 植物医学準専攻 M. 海洋鉱物資源科学準専攻

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	計
修了者数	8	7	9	2	5	10	3	1	0	0	0	0	0	45
回収件数	8	1	0	2	5	7	3	0	0	0	0	0	0	26
回収率(%)	100	14.3	0	100	100	70.0	100	0	0	0	0	0	0	57.8

2. 大学院での研究や生活で満足できたものを下記より選んでください。（複数回答可）

- A. 修士論文 B. 授業 C. 研究室での研究やゼミ
 D. 先生との出会い E. 友人との出会い F. 課外活動
 G. その他（ ）

	A	B	C	D	E	F	G	無回答
数学	6	4	4	3	2	0	1	0
物理科学	1	1	1	1	1	0	0	0

生物科学	0	0	0	0	0	0	0	0
地球科学	2	2	2	2	2	1	0	0
情報科学	4	5	4	4	4	0	0	0
応用化学	3	3	6	4	3	1	0	0
海洋生命・分子工学	0	0	3	2	1	0	1	0
災害科学	0	0	0	0	0	0	0	0
連携分野(植物分類・地理学)	0	0	0	0	0	0	0	0
連携分野(海底資源科学)	0	0	0	0	0	0	0	0
黒潮圏総合化学準専攻	0	0	0	0	0	0	0	0
植物医学準専攻	0	0	0	0	0	0	0	0
海洋鉱物資源科学準専攻	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	16	15	20	16	13	2	2	0
合計(%)	61.5	57.7	76.9	61.5	50.0	7.7	7.7	0

○数学

・特になし

3. 大学院での研究や生活で満足できなかったものを下記より選んでください。(複数回答可)

- A. 修士論文 B. 授業 C. 研究室での研究やゼミ
D. 先生との関係 E. 友人との関係 F. 課外活動
G. その他 ()

	A	B	C	D	E	F	G	無回答
数学	0	1	0	0	0	4	1	2
物理科学	0	0	0	0	0	1	0	0
生物科学	0	0	0	0	0	0	0	0
地球科学	0	0	0	0	0	1	0	0
情報科学	1	0	0	0	0	1	0	3
応用化学	0	1	1	0	0	2	1	2
海洋生命・分子工学	1	0	0	0	0	1	0	1
災害科学	0	0	0	0	0	0	0	0
連携分野(植物分類・地理学)	0	0	0	0	0	0	0	0
連携分野(海底資源科学)	0	0	0	0	0	0	0	0
黒潮圏総合化学準専攻	0	0	0	0	0	0	0	0
植物医学準専攻	0	0	0	0	0	0	0	0
海洋鉱物資源科学準専攻	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	2	1	0	0	10	2	8
合計(%)	7.7	7.7	3.8	0	0	38.5	7.7	30.8

○数学

・特になし

○応用化学

・特になし

4. 大学院の授業は満足できるものでしたか。

A. 満足できた

B. 満足できる授業が多かった

C. 満足できる授業が少なかった

D. 満足できなかった

	A	B	C	D	無回答
数学	6	1	1	0	0
物理科学	1	0	0	0	0
生物科学	0	0	0	0	0
地球科学	2	0	0	0	0
情報科学	4	1	0	0	0
応用化学	3	3	1	0	0
海洋生命・分子工学	2	1	0	0	0
災害科学	0	0	0	0	0
連携分野(植物分類・地理学)	0	0	0	0	0
連携分野(海底資源科学)	0	0	0	0	0
黒潮圏総合化学準専攻	0	0	0	0	0
植物医学準専攻	0	0	0	0	0
海洋鉱物資源科学準専攻	0	0	0	0	0
合計	18	6	2	0	0
合計(%)	69.2	23.1	7.7	0	0

○応用化学

・専門的な内容でも基礎からわかりやすく教えてもらえる授業が多く、良い学習ができた。

5. 教育研究施設（学習環境）は満足できるものでしたか。

A. 満足できた

B. ほぼ満足できた

C. あまり満足できなかった

D. 満足できなかった

	A	B	C	D	無回答
数学	6	2	0	0	0
物理科学	0	1	0	0	0
生物科学	0	0	0	0	0
地球科学	1	1	0	0	0
情報科学	3	2	0	0	0

応用化学	2	3	1	1	0
海洋生命・分子工学	1	2	0	0	0
災害科学	0	0	0	0	0
連携分野(植物分類・地理学)	0	0	0	0	0
連携分野(海底資源科学)	0	0	0	0	0
黒潮圏総合化学準専攻	0	0	0	0	0
植物医学準専攻	0	0	0	0	0
海洋鉱物資源科学準専攻	0	0	0	0	0
合計	13	11	1	1	0
合計(%)	50.0	42.3	3.8	3.8	0

6. 高知大学の就職支援活動は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D	無回答
数学	2	4	2	0	0
物理科学	0	0	0	0	1
生物科学	0	0	0	0	0
地球科学	2	0	0	0	0
情報科学	2	1	0	0	2
応用化学	1	5	1	0	0
海洋生命・分子工学	0	0	3	0	0
災害科学	0	0	0	0	0
連携分野(植物分類・地理学)	0	0	0	0	0
連携分野(海底資源科学)	0	0	0	0	0
黒潮圏総合化学準専攻	0	0	0	0	0
植物医学準専攻	0	0	0	0	0
海洋鉱物資源科学準専攻	0	0	0	0	0
合計	7	10	6	0	3
合計(%)	26.9	38.5	23.1	0	11.5

○数学

- ・あまり、活用しなかった。

○情報科学

- ・利用していない
- ・社会人学生なので、評価なし

○応用化学

- ・面接練習ができるのは良いと思う。

7. 大学院在学中に高知大学公認あるいは非公認のボランティア活動に参加したことがありますか。

A. ある B. ない

	A	B	無回答
数学	1	7	0
物理科学	0	1	0
生物科学	0	0	0
地球科学	0	2	0
情報科学	1	4	0
応用化学	1	6	0
海洋生命・分子工学	0	3	0
災害科学	0	0	0
連携分野(植物分類・地理学)	0	0	0
連携分野(海底資源科学)	0	0	0
黒潮圏総合化学準専攻	0	0	0
植物医学準専攻	0	0	0
海洋鉱物資源科学準専攻	0	0	0
合計	3	23	0
合計(%)	11.5	88.5	0

8. 7で「ある」と答えた方に質問します。その活動は満足いくものでしたか。

A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D	無回答
数学	1	0	0	0	7
物理科学	0	0	0	0	1
生物科学	0	0	0	0	0
地球科学	0	0	0	0	2
情報科学	0	1	0	0	4
応用化学	1	0	0	0	6
海洋生命・分子工学	0	0	0	0	3
災害科学	0	0	0	0	0
連携分野(植物分類・地理学)	0	0	0	0	0
連携分野(海底資源科学)	0	0	0	0	0
黒潮圏総合化学準専攻	0	0	0	0	0
植物医学準専攻	0	0	0	0	0
海洋鉱物資源科学準専攻	0	0	0	0	0

合計	2	1	0	0	23
合計(%)	7.7	3.8	0	0	88.5

9. 総合的に考えて、理学専攻（修士課程）で学んでよかったですか。

- A. とてもよかったですと思う B. おおむねよかったですと思う
C. あまりよかったですと思わない D. よかったですと思わない

	A	B	C	D	無回答
数学	5	3	0	0	0
物理科学	1	0	0	0	0
生物科学	0	0	0	0	0
地球科学	2	0	0	0	0
情報科学	3	2	0	0	0
応用化学	4	3	0	0	0
海洋生命・分子工学	3	0	0	0	0
災害科学	0	0	0	0	0
連携分野(植物分類・地理学)	0	0	0	0	0
連携分野(海底資源科学)	0	0	0	0	0
黒潮圏総合化学準専攻	0	0	0	0	0
植物医学準専攻	0	0	0	0	0
海洋鉱物資源科学準専攻	0	0	0	0	0
合計	18	8	0	0	0
合計(%)	69.2	30.8	0	0	0

10. 理学専攻（修士課程）の教育研究全般について、意見があれば書いてください。

○数学

- ・指導教員のサポートがしっかりしていて良かった
- ・自分のしたい研究ができてとても充実できた。資料などの活用もできたので満足。

○地球科学

- ・特にありません ありがとうございます！

○応用化学

- ・特になし
- ・研究については、納得するまでやれましたが、新たにやりたいことが出てきたので、もう少し実験をしたいなと思いました。・ChemDraw の復活してほしいです。（ChemDraw が使用できなかった時は、構造式を描くのに困ったから。）